



TECHNO CREATIVE

株式
会社

テクノクリエイティブ

DX計画

2026年4月制定

代表者メッセージ



代表取締役CEO

三嶋 一秀

平素より弊社に格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。私たちは、急速に進化するデジタル社会において、地域と企業の未来を共に創造する存在でありたいと願い、日々努力を重ねています。

現在、生成AIの普及やクラウド活用の拡大を背景に、デジタルトランスフォーメーション（DX）のニーズがますます高まっています。企業の業務効率化や地方自治体のデジタル化への期待が膨らむ中、IT投資はセキュリティ強化や老朽システム刷新、そしてクラウド環境への移行へと加速しています。このような機会を捉え、私たちはお客様の課題解決を最優先に考え、価値あるサービスを提供することに注力しています。一方で、エンジニア採用競争の激化や地政学的リスクなど、事業環境においては慎重な対応が求められています。これらの脅威に対しては、柔軟かつ効率的な開発・生産体制の構築、先端技術者の育成、そして人的資本への戦略的投資を通じて、持続的な成長を実現していく所存です。

弊社は熊本や福岡を中心とした強固な顧客基盤を有し、東京、名古屋、大阪など広域にわたるネットワークを活かして、地域密着型のサービスを展開しています。システムインテグレーション領域では、ITコンサルティングからシステム開発、インフラ構築・運用までを一貫して提供するトータルソリューションを通じて、お客様のニーズを徹底的に追求しています。また、製造請負や外製化需要の増加に対しても、迅速かつ柔軟に対応できる体制を強化しています。

しかしながら、レガシーシステム保守への依存度や先端技術者不足といった課題も存在します。これらの弱みを克服するために、私たちはDX推進を通じて技術力の高度化を図り、企業価値をさらに向上させる取り組みを進めています。

これからも地域の未来を支える企業として、デジタル技術を駆使しながら、変化する時代に即応した価値創造を実現してまいります。皆様と共に歩む道を切り拓きながら、持続可能でより豊かな社会の実現に向けて邁進していく所存です。

今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

DXの経営ビジョン

デジタルを活用し、高品質のサービスと技術力で
お客様の満足と信頼に応えるとともに、
業務効率化と働きやすい環境を実現する

DXの経営ビジョンを実現するための「ビジネスモデルの方向性」

- 1. サービスの高度化** 受注型ビジネスから、データ活用による
予知保全などを組み込んだソリューション提案型ビジネスへの進化
- 2. プロセスの自動化** 社内業務および製造、開発プロセスの自動化、AIを活用した効率化による生産性向上
- 3. 人材のデジタル化** 全社員のDXリテラシー向上と、高度デジタル人材の育成

柱となるデジタル基盤

統合型顧客管理・営業支援・プロジェクト管理プラットフォーム

顧客情報管理・商談管理・プロジェクト管理・ワークフロー自動化・分析レポート機能を単一プラットフォーム上で統合運用

1.工数管理の効率化と精度向上

工数管理の効率化と精度向上を実現するために、プロジェクトごとの作業時間をリアルタイムで追跡し、進捗を正確に把握する仕組みを構築。また、従業員の作業状況を可視化し、無駄の削減を実現する。
さらに、収集した工数データを基にプロジェクトの実際のコストを算出することで、適切な予算管理を行い、プロジェクト全体の効率と収益性を向上させます。

2.人材評価の合理化と透明性の向上

従業員の業績評価を体系的に行い、目標設定・定量的な評価指標の追跡・フィードバック機能を組み合わせることで、評価プロセスを明確化。加えて、従業員個々の目標をプロジェクトや組織全体の目標とリンクさせることで、成果の可視化とモチベーション向上を促進。

3.データの一元化と分析の強化

プラットフォーム内のチャット機能やプロジェクト管理ツールを活用することで、チーム間の情報共有をスムーズに行い、コミュニケーションの効率を向上。また、誰がどのタスクを担当しているかを一元的に把握し、進捗状況や優先順位を容易に管理できるタスク管理の一元化を実現。

4.クライアントへの迅速な対応

クライアント対応においては、営業・サポートに関する情報を一元管理することで、問い合わせや要望に対して迅速かつ適切に対応できる体制を構築。また、プロジェクト管理ツールを活用して進捗状況をリアルタイムで把握し、クライアントへの進捗報告を正確かつタイムリーに行うことが可能。

クライアントの過去の購入履歴や行動データを活用した個別化された提案・サービスの提供により、顧客満足度の向上を図ります。

柱となるデジタル基盤

製造・工程管理統合システム

原価管理・在庫管理・工数管理・工程進捗管理・品質管理・データ収集を一元化し、製造現場のリアルタイム可視化と生産性向上を実現する統合基盤

1. 原価管理の改善

統合システムの導入により、製造プロセスごとの原価をリアルタイムで把握し、どこにコストがかかっているかを明確に分析することが可能。原材料費・人件費・間接費などのデータを一元管理することでコスト削減の機会を可視化し、無駄なコストを発見・削減することが見込まれる。プロジェクトや製品単位で実績値と予算値を比較できるため、計画と実績の乖離を早期に把握し、迅速な是正対応が可能となります。

2. 在庫管理の効率化

在庫状況をリアルタイムで把握することで、過剰在庫や欠品リスクを軽減。必要なタイミングで発注する仕組みをシステムがサポートすることで、在庫の最適化を実現し、過剰在庫・在庫不足の両方を防止。これまでの棚卸し業務を大幅に簡略化し、精度を向上させることで、現場の作業負担を大きく軽減することが期待される。

3. 工数管理の向上

各作業者の工数を詳細に記録し、どの工程にどれだけの時間がかかっているかを正確に把握することで、作業の無駄やボトルネックを特定し、プロセス改善を継続的に支援。これにより作業効率と生産性の向上が実現。プロジェクトごとの進捗状況をリアルタイムで確認できる環境を整備することで、遅延を未然に防ぎ、納期遵守率の向上につなげる。

4. 導入による期待効果

統合システムの導入によって期待される効果は多岐にわたる。まず、手作業やエクセル管理からの脱却により作業負担が大幅に軽減され、従業員がコア業務に集中できる環境を構築。無駄な在庫や工程の見直しを通じてトータルコストの削減が実現。また、工数や在庫を正確に管理することで納期の遅延リスクが低減し、納期遵守率の向上が期待される。さらに、データがリアルタイムで収集・可視化されることにより、経営陣が迅速かつ的確な意思決定を行える環境が整う。

5. クライアントからの信頼

クライアントに対しては、納期の短縮と予算内でのプロジェクト完了率向上により、プロセスの効率化と生産性向上を実現。作業の進捗状況をリアルタイムで共有することで透明性が高まり、クライアントからの信頼獲得につながる。

また、提供するサービスや製品の品質向上によりエラーやトラブルが減少し、設備・施設のダウンタイムを最小限に抑えることでクライアントの事業運営への影響を軽減。

最適化された設計・施工によるコスト削減や、クライアントの要望に沿った個別化されたサービス提供により、カスタマイズ性の向上と顧客満足度の強化を図ります。さらに、プロジェクト進行状況をクライアント自身が確認できる仕組みにより安心感と納得感を提供し、安全性向上による運用リスクの低減、プロジェクトの信頼性向上を通じて長期的なパートナーシップの構築を目指す。

柱となるデジタル基盤

システム統廃合・一元化／統合人事・労務・バックオフィス管理プラットフォーム (分散システムを統廃合)

現行の複数システムを廃止・集約し、管理コストとデータ分散を解消

1. 業務効率の向上

バラバラだった複数のシステムを統合することで、データの分散や重複入力が解消されます。人事労務・給与計算・勤怠管理などが一元管理されることで業務フローが大幅に簡素化され、作業時間の短縮が実現。また、年末調整や経費精算の自動化機能により手作業の負担が軽減され、締め処理や調整作業の煩雑さが緩和。さらに、ワークフローや書類配布機能の活用により情報共有がスムーズになり、承認作業などのプロセスを迅速化することが可能となる。

2. コスト削減

複数のシステムを個別に管理・運用する場合と比べ、統合されたシステムの導入によりライセンス費用や運用コストを削減。書類配布や勤怠管理のデジタル化により、紙の使用量や郵送費などのコストも削減。サーバーのクラウド化により物理的なサーバー機器の維持管理費が不要となり、インフラコストの大幅な削減が実現する。

3. データの有効活用と分析

新システムのAI分析機能を活用することで、従業員のパフォーマンスや勤怠傾向を把握し、適切な評価や改善策を検討することが可能になります。また、会計システムの導入により会計データの可視化が容易になり、財務状況のリアルタイム分析が可能となることで、経営判断の精度と速度が大幅に向上する。

4. コンプライアンスの強化

IT資産管理システムの導入により資産管理が徹底され、セキュリティリスクや不正利用の防止が期待される。また、経費精算や勤怠管理の自動化により人的ミスが減少し、帳簿や報告書の正確性が向上することで、法令遵守体制の強化と内部統制の整備が実現される。

5. 社員の働きやすさ向上

Eラーニング機能を活用したスキルアップ支援（デジタル人材育成を含む）により、社員がオンラインで自らスキルを磨ける環境を整備。これにより自己成長を促し、モチベーションの向上につなげる。

また、これまでの業務プロセスがシステム統合により整理されることで、システムの使いやすさが向上し、社員の日常的な業務負担が大幅に軽減。働きやすい職場環境の実現は、従業員エンゲージメントの向上と優秀人材の定着にも直結する重要な取り組み。

6. 柔軟性とスケーラビリティの確保

サーバーのクラウド化により、事業拡大や従業員増加に応じてシステムを柔軟に拡張できる体制を整備。これにより、ビジネスの成長に合わせて都度大規模なシステム投資を行う必要がなくなる。また、クラウドベースのシステムによってリモートワーク環境においても効率的な業務遂行が可能となり、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方を支えるインフラが確立される。

7. トラブル発生時の迅速な対応

バラバラだった複数のシステムが統合されることで、問題発生時の原因特定や対策の立案が容易になり、トラブル対応のスピードと精度が向上。また、クラウド化されたサーバーは障害時のバックアップや復旧を迅速に行える仕組みを備えているため、システムダウンタイムの最小化が期待される。これにより業務継続性（BCP）が強化され、万が一の事態においても組織の安定した運営を維持することが可能となる。

取締役を委員長とする「DX委員会」を組織し、DX推進を行っていく



DX委員会の設置

- 委員長 取締役CFO
- 委員 各事業部責任者、情報システム課
- 実施頻度 四半期に1回
- 内容 DX化進捗報告
 - └ 問題点・課題・要望の情報共有
 - └ 問題点・課題の解決案検討
 - └ 要望事項の優先検討

外部連携

各ITベンダー、コンサル活用、専門家や企業との連携による情報収集、意見交換の実施

人材

- デジタル関連eラーニングの受講（全社員）
- IT人材の採用50名（中途）
- ITパスポート取得 50名
- 生成AIパスポート取得 30名
- データサイエンス資格取得 30名
- 情報セキュリティ資格取得 20名
- スペシャリスト資格 50名
- エンジニア関連資格 270名

基盤

- 戦略記載の各種システムの導入、更新
- 顧客データのプライバシー保護/セキュリティ確保
- サーバークラウド化
- IT資産管理の徹底
- VPNを解消した新しいネットワーク構築

KPI案

戦略① システムインテグレーション事業	戦略② エンジニアリング事業	戦略③ バックオフィス／全社領域
<ul style="list-style-type: none">・ 商流改善による利益率改善17.0%・ コスト超過プロジェクト発生率0%	<ul style="list-style-type: none">・ コスト削減：副資材類の使用数量を前期比3%改善・ 生産性の向上：残業時間月平均10H以内・ 品質改善：不適合発生件数年間20件以下	<ul style="list-style-type: none">・ システムコスト削減5%・ Eラーニング受講完了率100%



1. サービスの高度化

受注型ビジネスから、データ活用による
予知保全などを組み込んだソリューション提案型ビジネスへの進化

2. プロセスの自動化

社内業務および製造、開発プロセスの自動化、AIを活用した効率化による生産性向上

3. 人材のデジタル化

全社員のDXリテラシー向上と、高度デジタル人材の育成

株式会社テクノクリエイティブ DX計画 2026

経営理念



DXビジョン

デジタルを活用し、高品質のサービスと技術力で
お客様の満足と信頼に応えるとともに、業務効率化と働きやすい環境を実現する



DXビジョン実現の 方向性

サービスの高度化

プロセスの自動化

人材のデジタル化



DX戦略

- 1… システムインテグレーション事業：統合型顧客管理・営業支援・プロジェクト管理プラットフォーム
- 2… エンジニアリング事業：製造・工程管理統合システム
- 3… バックオフィス／全社領域：システム統廃合／統合人事・労務・バックオフィス管理プラットフォーム

組織

取締役を委員長とする「DX委員会」を組織し、DX推進を行っていく

人材

IT人材の採用・育成 スキル・キャリアアップ支援 ワークライフバランスのサポート

IT環境

データ分析環境の構築 業務システムの改善・拡充 セキュリティの強化